

なお本日は（株）ハーモニックの藤田さんからライラ研修参加の報告をしていただきます。本日出張の為お出でになれなかった中村さんの分もあわせてお話していただきますので、よろしくおねがい致します。

「ライラ研修の感想について」（株）ハーモニック 藤田将光様
去る、H14年9月20日から9月22日の2泊3日の日程でライラ研修（青少年指導者育成プログラム）に（株）ハーモニックの代表として参加させて頂きました。まず研修を終えての率直な感想としては『貴重な体験ができ本当に参加してよかった』という気持ちでいっぱいであります。

県内各地から100人の研修生および89人のロータリアンが集い『自然、友情、協調、規律』のテーマのもと共同生活を送りながら5つの研修を実体験し、青少年指導者を養成するといった研修を体験させて頂きました。

まず、研修期間中は外部との連絡や新聞・テレビなどの情報源を断ち、朝6時に起床後、夜11時の消灯までビッシリと分刻みのスケジュールが設定され、行動は必ず班のメンバーと共にし、禁酒という厳しい規律の厳守がルールとなりました。

そしてまったく見ず知らずの研修参加者と共に、3日間の限られた期間内で『お互いを協調しつつ友情をはぐくむ』これを予めテーマとして各自が頭の中で理解した上で近道を探りつつ研修を体験していく。なかなか口で言うのは簡単なようですがいざ意識して『友情・協調』のテーマを短期間に形にすることは難しいもので、友情を作り上げるには初日からやはり最低2・3日は期間が必要かなあという実感です。しかしながらまったく、年齢も職業も違う研修生といろいろな意見交換をし、自己主張をぶつけ合い、お互いを理解し合う機会というのは、一生の内でもなかなか経験することのない貴重な時間でありとても有意義なものとなりました。

具体的な研修内容としては、野外炊飯・キャンプファイヤー等、小・中学校時代に経験した林間学校での経験を思い出すような物が数多くあった様に感じます。今振り返ると学生時代に経験したことが、教育者側の意図としてライラ研修のテーマである『友情・協調・規律』の学習であったのだとふと考えさせられ、再認識する良い機会となりました。

また、特別講師前野徹氏による「第四の国難」の講演については驚きの講演内容でありました。現在の日本の危機的状況を的確に指摘され、北朝鮮の拉致問題に始まり国家の尊厳が薄れてきており、このままでは日本が滅亡してしまうとの大胆な主張をされました。戦後の教育制度の失敗が現在の国難を招いていることから、私達研修生に対して地域社会の指導者としての自覚とリーダーシップの発揮に対する熱いメッセージを頂戴することができました。

以上簡単ではありますがライラ研修の感想になります。今回の貴重な体験を忘れることなく今後、会社内や家族そして地域社会の中で研修で得たものを還元し、よりよい社会形成、人間関係形成、青少年指導等に役立てて行きたいと考えています。

そして、このような民間人向けの『ライラ研修』が今後も末永く開催され、より多くの若者が貴重な体験を習得、よりよい社会形成がなされていくことをお祈りし、報告を終えたいと思います。どうも有り難うございました。

雑誌会報委員会 9/29雑誌・クラブ会報委員会セミナーが白根でありました。
基調講演 ロータリーの友編集長 二神 典子の内容 別記①
委員会の任務 別記②

会報委員会報告別記①

『ロータリアンの友』が新しくなりました ロータリーの友 編集長 二神 典子
『ロータリアンの友』は創刊50周年

1953（昭和28）年1月創刊のロークリーは、来年（2003年）1月号で、創刊50周年を迎えます。これを機に、本年7月号から、『ロータリアンの友』がリニューアルしました。

・サイズを大きく・製本を中綴じに
従来のB5判（天地257³/₁₆×左右180³/₁₆）をA4変型判（天地280³/₁₆×左右210³/₁₆）に致しました。本のサイズを大きくしたことで、写真を大きく、余白を生かし、読みやすい工夫を致します。

・カラーをトップに
従来、横組みの記事中にあった「ロータリー・アット・ワーク」「新世代のページ」トップにしました。縦組みのトップには「わがまち わが地区」をカラー写真で紹介、「SPEECH」にもカラー写真を入れ、親しみやすさ、読みやすさを重視しました。

・お忙しい方のために
「『ロータリアンの友』の記事には関心があるのだが、忙しくて読んでいる暇がない」というロータリアンのために、リードと小見出しを増やし拾い読みしていただけるよう工夫を致しました。

・Annotation
ロータリー用語ならびに一般用語の説明、『ロータリアンの友』の関連記事掲載号などを各欄の最後に入れました。ご利用ください。

・新会員のページ
新会員の方が早くロータリーを理解し、また、慣れていただくために新設しました。単なる用語解説ではなく、新会員の意見や悩みなども掲載し、コミュニケーションの場とする予定です。新会員の皆さまだけでなく、先輩会員の皆さまも新会員を理解するためにお役立てください。

『ロータリアンの友』でコミュニケーションの輪を広げてください

・ロータリアンであれば誰でも参加できます
ロータリアンは『The Rotarian』またはRI公式地域雑誌である『ロータリアンの友』を買って読む義務があります。これは「標準ロータリークラブ定款 第13条」および「国際ロータリー細則 第20条」で定められています。しかし、そればかりではなく、『ロータリアンの友』には、ロータリアンは自由に参加することができます。活動の写真や原稿、『ロータリアンの友』に対するご意見・アイデアを積極的にお寄せください。

・話題に
例会の折、『ロータリアンの友』の記事について触れてください。『ロータリアンの友』を通じて、

クラブ内のコミュニケーションが活発になれば幸いです。

・ご連絡を

『ロータリーの友』の中に、参考になる他クラブの活動や、ちょっと興味をもった会員を見つけたら直接連絡をとったり、『ロータリーの友』に投稿したりして、ロータリーの輪を広げてください。

会報委員会報告別記②

「雑誌・クラブ会報委員会セミナー」

雑誌委員会 この委員会の任務は、

◎ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起する。

- ・4月の雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、
- ・新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、
- ・ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、
- ・図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らい、
- ・ニュース資料を雑誌編集者に送り、
- ・その他あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員及びロータリアン以外の人々に役立てるものとする。

(2001年手続要覧 P 263)

クラブ会報委員会 この委員会の任務は、

クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、及び世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。

(2001年手続要覧 P 263)

★クラブの活動状況を記録として残す。

ニコニコボックス：	1日現在累計	379,000円
-----------	--------	----------

山崎 勲 君 29日は卒の結婚式が無事終わりました。一重に皆様方の御協力のたまものと感謝申し上げます。これからも宜しく願い申し上げます。

斎藤 正 君 三女の結婚式では心暖まる祝電をいただき有難うございました。わずかな道のりでしたが、バージンロードを歩いて父親としての果(は)てしない感慨を覚えました。

笹原 壮 玄 君 10月1日、今日は衣替え。政府も一新したようだがフリーズした日本はいつホットになるのかなあ？

大橋 政 雄 君 ライラ報告会欠席します。申し訳ありません。

山上 茂 夫 君 山崎さん御子息の御結婚おめでとうございます。大変素晴らしい結婚式でした。御幸せを願って。

佐藤 啓 策 君 所用により早退させていただきます。

阿部 勝 子 君 神田様ようこそ。宜しくお願いします。

久保 博 君 神田さんようこそ。

外山 晴 一 君 神田さんの入社かんげいします。

青木 省 一 君 神田さん入会御目出度うございます。

大野 新 吉 君 新入会員の神田さんを歓迎して。これから長いおつきあいとなります宜しく願います。又、ライラ研修として藤田さん、馬場さん大変ご苦労様でした。

*9月のコメント賞は斎藤 正会員でした。

新入会員入会式：

新入会員 プロフィール

氏 名 神田 敬宏

生年月日 昭和39年10月26日

会 社 名 (株)神田屋商店

役 職 名 専務取締役

会社住所 三条市直江町3-2-41

T E L 32-1376 F A X 33-0129

自宅住所 三条市松ノ木町8-2

T E L 38-0041

家族構成 トモ子(妻) 憲人(長男)



ライラ研修報告会：

馬場委員長(長谷川会員代読)

「ライラ研修に参加して」 新世代奉仕及びライラ委員長 馬場直次郎

この程、第2回ライラ研修会が9/20~22日迄、巻の新潟県立青少年研修センターに於いて盛大に行われました。

当北RCからは、柄沢会員のご協力を得て(株)ハーモニック様の社員である中村さんと藤田さんのお二人に張り切ってご参加頂きました。本当にありがとうございました。

幸い天候にも恵まれ、多勢の若い人達やロータリアンの方々が、一生懸命に研修に励まれました。寝食を共にすると遠い人も近い人になると言われるとおり、お互いにすっかりうち解けあって、素晴らしい出会いにも恵まれ、大変有意義な研修となりました。私は最終日に従兄弟の子供の結婚式に出席しなければならず参加することができませんでした。ピンチヒッターとして大橋委員に出席していただきました。本当にご苦労さまでした。

私も本日皆さんにライラ研修についての報告をする予定でしたが、なにしろ商売がら10月1日の衣替え前後で大変忙しく心ならずも欠席させて頂いております。「ごめんなさい」